

議会だより

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第87号 2017年5月2日

p6
～予算審査特別委員会Q&A～
あると納税3000万円

写真
金曜日の楽しみ
サロンおやすみ処で集う
(表紙説明は17ページ)

- p2 議会報告会～町民と意見交換～
- p9 こんなことが決まりました～公営住宅整備～
- p11 町政を問う。一般質問に4議員が登壇
- p16 高齢者福祉政策を～所管事務調査報告～
- p17 Topic議会
- p18 町民インタビュー聞かせて わっさむ草花の会

町民との多様な意見を交換



三和地域センター



町民センター



中和地域センター



大成寿の家

多数のご意見ありがとうございました

4月13日～14日に、町民センター・三和地域センター・大成寿の家及び中和地域センターの4会場で、63名の参加を得て議会報告会を開催しました。

内容は、各委員会から議会活動の報告をさせていただき、その後参加された皆さんからご意見を伺いました。

議会からはこんな報告をしました

■総務福祉常任委員会

- 財産の管理状況について
- 福祉・医療施設について

■議会広報委員会

- 紙面の内容やレイアウトについて

■議会運営委員会

- 常任委員会委員定数について

■産業教育常任委員会

- 公営住宅等について
- 農業委員会法の改正について
- 南瓜用生分解性マルチ購入補助について
- 災害用水中ポンプのリースについて



議会報告会アンケート（抜粋）

Q 議会だより「ワットサム」紙面の内容やレイアウトなどの感想・意見は？

これからもより良い報告・紙面づくりを心がけてください。

町民を代表して頑張っている様子が分かり、良いと思います。

内容、表現法わりと分かりやすく、読みやすいです。

色彩がいまいち。

昨年お願いしたところは直りました。「…のところ」を廃止してシンプルな様式をお願いしました。

カラー紙面になってかっこ良いです。細かい点まで分かりやすく説明しています。

Q 本町議会議員の定数は現在10名ですが、議員定数についてどう思いますか。

現状でよい	削減すべき	増やすべき	わからない	未回答	合計
39名	7名	1名	3名	7名	57名

削減すべき数		削減理由
1人削減	1名	
2人削減	5名	
未回答	1名	

・人口減少のため。

増やすべき数		増やす理由
2人増	1名	

・経費削減等の理由で減らすのが全国的な流れですが、削減しても一人当たり300~400万円/年だと思うので、全体的視点から見ると微々たるもの。多くの町民の意見を反映させるため増やすべきと考えます。

Q 町議会に対するご意見・ご要望は？

町民の声をもう少し聞いてください。それを議会に反映させてください。

何でも話しやすい議員、住民に親しまれる議員を目指して欲しい。

議会と行政が一体となって「まちづくり」を目指して欲しい。

議員さんももっと意見をぶつけ合って欲しい。

更なる活発な議論の展開される議会を。

議員は町民の声、情報を行政に届けて欲しい。

見換
意交

明るくモダンな公営住宅を

◇公営住宅（大通り）

Q 土地の寄付を受けて公営住宅を建設することのことだが、今後、土地を寄付したいという人が出てきた場合どう対応するのか。

A 何でも寄付を受け付けるというわけではない。町として有効利用できるかどうかが、費用対効果なども含めて検討することである。

Q 公営住宅建設予定地は、お祭り広場として使用していた場所だが、どうなるのか。

A まだ計画段階なのでお答えできない。

Q 建物の取り壊しの費用は誰が負担するのか。

A 建物ごと土地の寄付を受け、町で取り壊す。解体にかかる費用の2分の1は国庫補助を受ける予定。

Q 高齢者向けの住宅にするそうだが、ジュネスハウスも満室との話も聞き、若い方が住めるようにはならないのか。

A 今回の建設目的は若草団地の建替えによるもの。若い方については省スペース型賃貸住宅が民間で建てられている。

Q 街の真ん中なんだから、明るくモダンな公営住宅らしくない住宅にしてほしい。

A 昨年、比布・多奇・剣淵に視察に行つて検討している。ご意見ありがとうございます。

◇防災

Q 災害用水中ポンプの整備はありがたいが、河川の底さらいや雑木の撤去が先では。

A 毎年土現に要望しているが、引き続き要望していく。

Q 昨年の災害時、使用していた無線機はデモ機とのことだったが、購入したのか。

A 今年度298万7千円の予算で購入する。（GPS用パソコン1台、携帯無線機15台）

◇ふるさと納税

Q ふるさと納税の返礼品の予算は。

A 送料込みで寄付金の50%としている。

Q 町民が他の自治体へ寄付しているのか。

A 平成27年度は数件あった。

平成28年度はまだ数字を押さえていない。

◎住民課へ確認◎
他の自治体への寄付件数は、平成28年約80件（14人）です。

◇農業委員会

Q 農業委員会に関する法改正により、今までの女性枠や農協・土地改良区から選任を受けていた委員はどうなるのか。

A これまで議会では女性委員2名を推薦していたが、今後は同意する立場になるので、推薦できなくなる。農協や土地改良区についても推薦はなくなるが、候補者として団体推薦はできる。



▲産業教育常任委員会での現地視察

意見交換

一般質問後の対応は

◇議会に対して

Q 一般質問に対して、執行者が検討したいと言っているが、その後どのようにして確認し、追及しているのか。

A 予算・決算の時期に確認したり、連続で一般質問をする議員もいる。

検討されていないものについては、今後追いかけていこうという意見もあり、具体的にしよう。

Q 町政懇談会も議会報告会も、決定したことばかり。

町民の話を聞く・意見を反映させると言っているが、町民の意見はいつどのタイミングで届くのか。

A 議会は要請があれば、出前委員会を行う。この報告会で出された意見も検討していく。

◇議会だよ

Q よく、全員賛成可決となっているが、反対意見もあつてのことだと思つので、その意見を載せてもらいたい。

A 限られた紙面で、文字ばかりになると逆に読んでもらえないことにもなるが、質疑応答をより多く載せるように、努力していく。

◇公園

Q 若草の公園に遊具やバックネットなどがあり、かなり年数が経過していることから老朽化が進んでいるが、管理・補修等はしているのか。

A 町民の声を聞きながら、時間差はあると思うが順次進めていく。

◇生分解性マルチ購入補助

Q 光分解性マルチの生産終了により約68%価格が高い生分解性マルチを購入しなければならなくなったことから、激変緩和措置がとられることになったが、マルチの種類によつて補助額は変わるのか。

A 担当課に確認して、後日改めて報告する。

◎産業振興課へ確認◎
従来の光分解性マルチと新たに購入する光分解性マルチの規格毎の価格差に対して補助額を算出し助成する。

◇南丘貯水池

Q 南丘に2つのダムがあるが、集中豪雨が発生した場合、決壊する心配はないか。

A 今はオーバーフロー方式になっており、決壊することはない。ダムは土地改良区が管理をして合間に水を抜いている。
また、去年から田んぼダムも推進しており、川に一気に水が流れないような取り組みをしている。



▲公園も整備されている南丘貯水池

※紙面の都合により、内容の簡略化やすべてのご意見が掲載できておりませんのでご容赦願います。また、多くのご意見をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。

今年度予算

応援寄付金 3千万円見込む

平成28年度
ふるさと応援寄付金総額は
2,934万3,100円
でした!

主な寄付金充当事業 (29年度)

- ・保育所わんぱく広場整備工事
- ・高齢者等軽度生活支援(除雪サービス)事業
- ・芸術文化講演会負担金 など

▲保育所わんぱく広場整備予定地

平成29年度の一般会計・5
特別会計・病院事業会計は、
3月13日～17日までの5日
間、議員全員で構成する予算
審査特別委員会(石田利美委
員長・谷口勝弘副委員長)で
慎重に審議され、理事者及び
各課主任以上の職員が出席
し、質疑終了後、会計ごとに
討論・採決を行い、いずれも

予算総額 84億3297万円

うち一般会計 44億7000万円

町民1人当たりの額は

約127万6千円

(前年対比2万1千円増)

※1人当たりの金額は、平成29年3月末現在の人口3,503人で
計算しています。

予算審査 Q & A

☆マイホーム応援事業
(2350万円)

☆にれの町ようこそ祝金
(170万円)

Q 移住定住対策として
効果は出ているのか。

A マイホーム応援事業
は自ら定住しようとい
う方から申請がある
が、祝金は2年、3年
と経過しないと評価し
づらい部分がある。

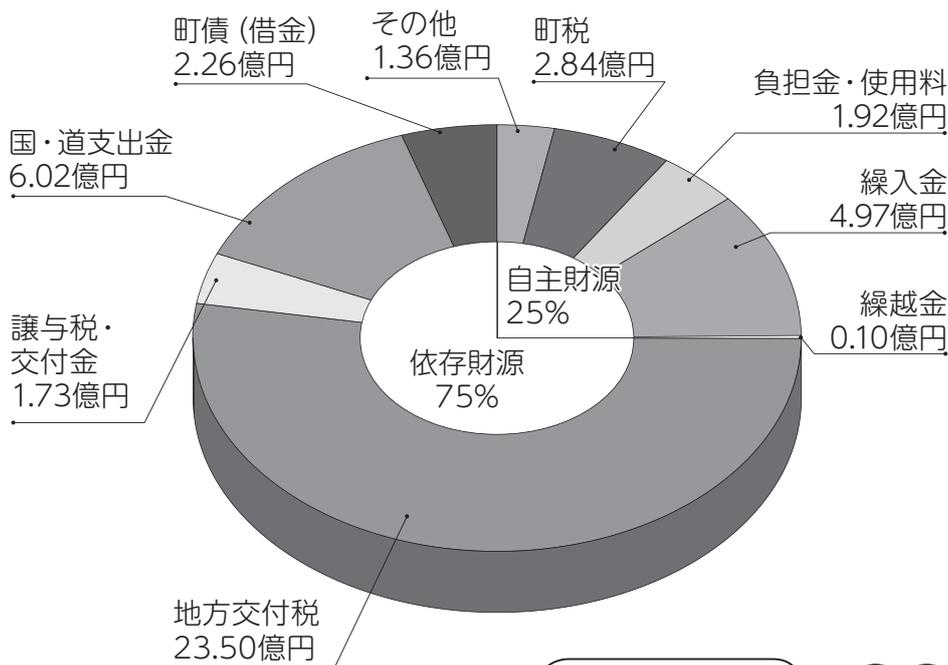
☆保育所わんぱく
広場整備

(679万円)

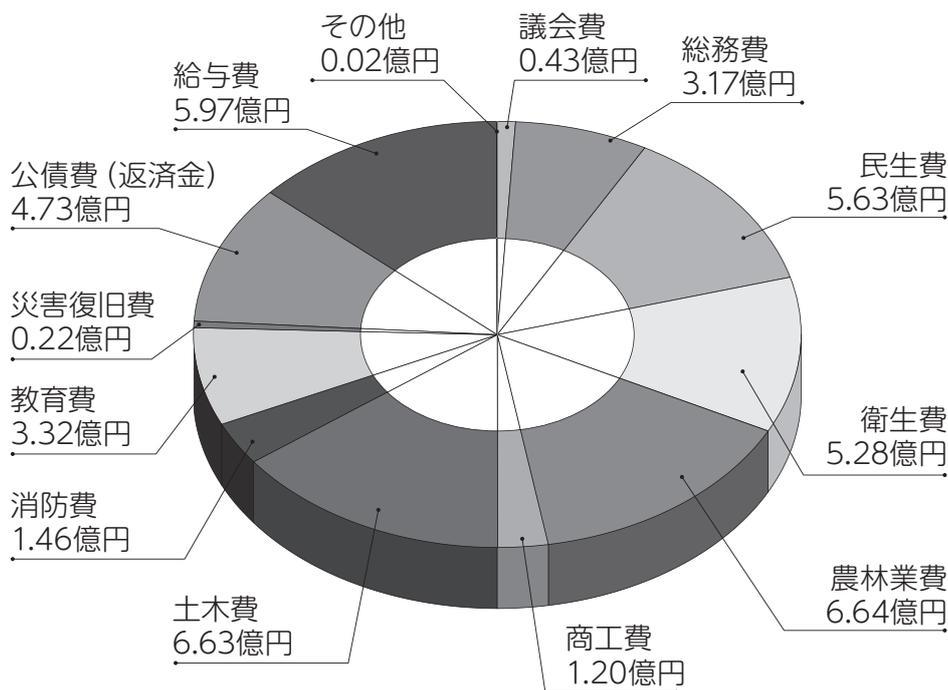
Q 広場をつくるにあたり、
保護者からどのよ
うな意見があったの
か。

A 幅広い年齢の子が、
泥んこ遊びなど伸び伸
び遊べる環境があれば
良いということがあり
計画した。

歳入 **財源**



使いみち **歳出**



ふるさと



賛成多数で原案どおり可決すべきものと決定しました。
 予算審査特別委員会での質疑を抜粋して掲載してありますのでご覧ください。

Q フェンスも含め、安全面の基準等はクリアされているのか。

A 現在も毎月職員が当番制で遊具点検を行っており、安全面には十分配慮している。

☆町営バス運行

(3,270万円)

Q プロポーザル方式で業者を選定したが、評価基準は。

A 選考の一番のポイントは安全性や従業員の研修、車両の管理など。その中で、系統立てて研修が図られているかどうかなどを聞いた上で、それぞれの委員が疑問点などを事業者に問答して決めた。

※プロポーザル方式とは

事業を委託する上で、複数のものに企画を提案してもらい、その中から最も適した業者を選定するもの。

☆禁煙治療費助成

(10万円)

Q 役場庁舎内の喫煙室が撤去されるが、喫煙できないことによるストレスへの配慮はどのように考えているか。

A 健康上の配慮を有する方は子どもや妊婦などあまり発言されない方々が大多数を占め、喫煙者に対して『吸わないで欲しい』とは言いつらい状況にある。たばこは健康上の有害物質であることは明らかであり、喫煙者と非喫煙者が共存するための対策とご理解いただきたい。

☆機能性成分試験研究

(100万円)

Q ペポカボチャについて、他の商品と差別化を図って和寒のブランドとして立ち上げる要素はあるか。

A 大学の研究機関に委託している分析では確証の高いデータが出て

いる。

ペポナッツを日常的に摂取されている方にアンケートをとったところ、トイレに行く回数が減ったという声もある。

もう少し時間はかかるが、最終的には機能性のとれた商品として出せると考えている。

☆商工会運営補助

(1784万円)

Q 昨年、商工会がアンケートを実施したが、その結果、町としてできることはあったのか。

A 和寒町商工会振興調査委員会での協議の中で、お買い物に係る町民アンケートを実施した。

アンケートなどに基づいて商店街活性化将来構想を立てることとしており、内容については商工会の理事会を経て3月末に提出される予定のため、事業計

画については今後になる。

☆公営住宅整備事業

(1億360万円)

Q これから善恵の土地の寄付が多く出てくるかもしれないが、基本理念を持って対応すべきでは。

A 寄付を受ける際は価値があるのか、使用目的をはっきりさせない限りは簡単に受けられないと考えている。



▲新たに公営住宅が建設される大通り

☆外国語指導助手報酬

(336万円)

Q 今後、小学生の英語の授業が増えてくるが、外国語指導助手の

方はどういった関わりになるか。

A 4月12日に新たな外国語指導助手の方が着任予定で、今後、小・中学校と連携を取り、保育所でも英語教育を進めるため保健福祉課とも相談しながら、土日の社会教育などの関係も含めて相談していきたい。

☆災害用水中ポンプ整備

(412万円)

Q ポンプ及び発電機のリースの予算が3カ月分計上されているが、現場に設置しておくのか、リース会社に置いておくのか。

A 昨年、災害時にポンプを各地で必要台数確保するために設置が間に合わないことがあったため、今回リースすることにになった。

ポンプはリース会社に3カ月間ストックしておき、災害時での気象状況を事前に把握し

即時に現場に設置できるようにする。

☆国民健康保険

都道府県化

Q 所得の高いところ、低いところによって、保険税の倍率が相当上がることもあると思うが、激変緩和措置等はされるか。

A 必要な保険税収納額を平成27年度の実績で提示しているが、今回の第2回目の仮試算の結果で5%以上増加した市町村に激変緩和措置が取られる予定。その場合、平成30年度から35年度の6年間で予定している。

●平成29年度一般会計予算に対し、「庁舎喫煙室等撤去改修工事」については、「庁舎受動喫煙防止工事」に修正することを要旨とする付帯意見を提出し、これを6名の賛成のもと議決しました。

「和寒町住生活基本計画策定」 公営住宅等整備に向け議決

3月定例会議会のあらまし

3月定例会議会（第1回定例会）は、平成29年3月3日から17日にかけて15日間の会期で開催しました。3日は、町政執行方針・教育行政執行方針が述べられ、条例改正などの議案審議をしました。また、平成29年度各会計予算が上程され、予算審査特別委員会に付託となりました。

13日には一般質問を行い、4人の議員が登壇し、行政に対する質問をしました。最終日には予算審査特別委員会の審査報告などがされ、3月定例会にかかると議案全て原案通り可決しました。なお、今定例会の傍聴者は延10人でした。

条例など

【住生活基本計画の策定】

（全員賛成可決）

公営住宅などの建替え、新規建設、改善、用途廃止など公営住宅等に係る事業を実施するため、平成29年度から38年度までの10カ年の計画を策定しました。

きた。特養に入れられない要介護度1・2の方々が入るところが無いことは大きな課題である。

福祉サービスも含めた住宅については並行して検討する必要がある。

【課設置条例の一部改正】

（8名賛成可決）

昨年度設置された高齢者施設支援課を保健福祉課に統合し、平成29年度から廃止する改正を可決しました。

【農業委員会委員定数条例の全部改正】

（全員賛成可決）

農業委員会等に関する法律が改正され、選挙制及び選任制から公募による任命制に変わったことにより、委員定数を従前の15名から14名に見直す改正を可決しました。

【パーク粉碎施設設置条例の一部改正】

（全員賛成可決）

粉碎パークの販売価格1㎡あたり1,300円を1,500円とする改正を可決しました。

【森林整備計画の変更】

（全員賛成可決）

森林法の一部改正に伴い、市町村森林整備計画において、鳥獣害を防止するための措置をすべき森林区域の設定等を新たに追加することや、既設・開設予定路網の整理及び文言整理などに関する変更を可決しました。

【税条例等の一部改正】

（全員賛成可決）

個人住民税における住宅ローン減税措置の適用期限の延長や法人町民税の法人税割の税率改正、軽自動車税のグリーン化特別の延長などをする改正を可決しました。

◎質疑抜粋

Q 地域包括ケアを見据えたまちづくりについてはどう考えているか。

A 今回は若草団地の建替えのところから始まり、計画策定を進めて

平成28年度各会計補正予算一覧表

(※1万円未満切捨て表記)

会計別		補正額	補正後の額
一般会計		△5601万円	45億6063万円
特別会計	国民健康保険	2937万円	7億4680万円
	簡易水道事業	△2億8175万円	4億4064万円
	公共下水道事業	△1616万円	3億2884万円
	後期高齢者医療	△32万円	5977万円
	介護保険(保険事業勘定)	△1399万円	5億7156万円
	介護保険(サービス事業勘定)	△264万円	4459万円
町立病院事業会計	収入	△189万円	5億3474万円
	支出	△2377万円	5億3913万円

補正予算

各会計の主な増減は別表のとおりで、各会計とも事業費の確定などによる執行残の減額などが行われました。

各会計の主な補正内容

(※1万円未満切り捨て表記)

一般会計		国民健康保険特別会計
○生活交道路線維持運行補助(道北バス)	153万円	○直営診療施設繰出金 4000万円
○個人番号カード関連事務等交付金	62万円	簡易水道事業特別会計
○介護従事者確保推進事業補助	△100万円	○東丘浄水場建設工事 △2億7723万円
○児童手当	△280万円	公共下水道事業特別会計
○町立病院事業会計繰出金	2810万円	○下水終末処理場改修工事 △1181万円
○農業経営力支援事業補助	△340万円	後期高齢者医療特別会計
○道営土地改良事業地元負担金	△2600万円	○一般会計繰出金 27万円
○樋門操作業務委託	297万円	介護保険特別会計保険事業勘定
○士別地方消防事務組合負担金和寒支署	△111万円	○施設介護サービス給付費 △800万円
○芸術文化講演会負担金	△121万円	介護保険特別会計介護サービス事業勘定
○職員各種手当	△188万円	○人件費 △267万円
○7号道路改良工事	△3817万円	国民健康保険町立和寒病院事業会計
○東山スキー場リフト改修工事	△63万円	○入院・外来収益 △7000万円

その他議案の審議結果

件名	審議結果
議会会議条例の一部改正	全員賛成可決
職員の育児休業等に関する条例の一部改正	全員賛成可決
特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	全員賛成可決
郷土資料館設置及び管理条例の一部改正	全員賛成可決
遺児手当金支給条例の廃止	全員賛成可決
財産の貸付	全員賛成可決

町政を 問う。

一般質問

和寒町では1人につき60分の制限時間が設けられ、質問の回数は無制限で行われます。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関（町長・教育長）に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。
※紙面の都合上、概略のみ掲載しています。

質問議員	質問事項	ページ数
酒向 勤 議員	①住生活基本計画は ②東丘浄水場建設は	12ページ
金谷 浩幸 議員	①町立和寒病院への一般会計繰入金の今後は ②喫煙室新設・解体の真意は	13ページ
石田 利美 議員	①平成29年度予算案は ②町立病院を継続していく施策は ③JR宗谷線の維持は	14ページ
佐々木広行 議員	①平成29年度予算編成は ②次期町長選に挑む所信は	15ページ



酒向 勤議員

問 住生活基本計画は
答 若草団地の流動化を

問 東丘浄水場建設は
答 国の補助内示を基に

中心市街地への公営住宅の整備は

平成29年3月3日に議決された和寒町住生活基本計画では、高齢者・障がい者への配慮・介護保険制度などの福祉施策の連携が示されているが、

奥山町長

中心市街地における公営住宅の整備については、老朽化の著しい若草団地の公営住宅の改築に当たり、高齢者の通院や買い物など利便性に配慮して市街地に整備することにより、現在の若草団地入居者の流動化を図る観点で取り組む。

公営住宅の改修事業に対し国の補助を受けるために、住生活基本計画の策定が必須のため、先般、議決いただき事業実施に向けて環境を整えた。

○再質問

平成26年12月にジユネスIV建設計画案の図面や日程、建設設計委託、入居者募集案が出ている。

また、若草団地の計画がそ

の後出されている。

その時には住生活基本計画は出来ていなかったが。

奥山町長

基本的にはどの案も可能性を最大限探ってきた中で、所管委員会の皆さんの意見もいただき時間をかけてやってきたと思っっている。

○再質問

介護保険、福祉、医療は住生活基本計画に全部入っているが今回の計画にどのようにして入れていくのか。

奥山町長

高齢者の单身向け住宅としてやっているが、現行の福祉サービスは当然、住民の方々にサービスが付与される。

例えば障がいをお持ちの方や、家庭の事情など色々あると思うが、高齢者安全見守り通報装置や、社会福祉協議会がやっているようなサービスなど、今の行政のサービスも含めて福祉サービスをしっかりと支える形でやっていく。

今回、新しい住宅一棟四戸

に入った方が特別に、他の町民の皆さんと違う福祉サービスを与えることはしない。

基本的に必要なものを提供していくのは他の町民の皆さんと同じ。

○再質問

商店街との関係は。

奥山町長

商工業の発展というのは当然和寒町の大事な政策の一つである。

関係者の皆さんや、商工会の皆さんと色々相談して、どういった方向性で取り組むべきか相談したいと考えている。

29年度の簡易水道施設国庫補助は

28年度国庫補助金が減額された東丘浄水場は、29年度高額な事業費になると思われるので早期発注が必要と思われるが。

奥山町長

東丘浄水場は、開設から53年が経過しており施設の老朽



▲建設が進む東丘浄水場

化が著しいことから平成28年度より改築を実施しているが、当初予定していた補助金予定額の57パーセントであったことから29年度は前年度の事業削減分と精査分を加え要望している。

発注時期については、国の補助金交付決定を受けてから事業執行が認められる。

発注方法として、建設主体・機械設備・電気設備の3工程を分離する。

仮に29年度においても、国の補助額が当初見込みより28年度と同じく大幅に変更になった場合、補助内示を基に対応する。

金谷浩幸議員



問 町立和寒病院への一般会計繰入金の今後は
答 バランスを考慮しながら取り組む

問 喫煙室新設・解体の真意は
答 分煙対策の向上と受動喫煙防止の必要性を周知

一般会計からの繰り入れだけで凌ぐには無理があるのでは

国民健康保険町立和寒病院に対しての一般会計からの繰入金は、28年度当初予算では1億9,760万円、本定例会に提出されている5千万円の補正を含め2億4,760万円、29年度予算では2億3,430万円となっている。我が町の現状、将来を考えるととき医業収益の増は考えづらく、一般会計からの繰り入れだけで凌いでいくことも無理があると思うが。

奥山町長

事業収益の大きな割合を占める入院病棟の経緯は、平成18年の診療報酬改定による大幅な収益の減少に対応するため、平成19年5月から療養病床を廃止し、一般病床30床に変更し、現在に至っている。平成28年度入院患者の1日当たり平均患者数は12人前後、外来患者は、56.6人とピーク時の6割程、その要因は人口減少のほか、投薬期間の延

長によるものと考ええる。

病院事業に対する一般会計からの繰り入れが膨らむことから、抜本的な見直しが必要と認識している。

町民が地域で安心して生活できる環境を確保するため、地域医療の継続した提供体制を維持することが重要である。今後も、これらに係る一般財源の充当について、バランスを十分に考慮しながら取り組んでいく。

○再質問

上限設定は。

奥山町長

町立病院の赤字の要因は、不採算医療であり、特に24時間の救急医療体制になっているからである。

私は迷いも無く24時間体制を維持すべきと考えている。

一般会計の繰り入れがどこまで許されるかの目安が必要かもしれないが、医師やスタッフの皆さんと相談しながらこの体制を進めていく必要がある。



▲一般会計からの繰入が膨らむ病院事業会計

受動喫煙防止対策は

公共施設受動喫煙防止対策について、新設と解体撤去予算が組まれているが、町長の真意は。

奥山町長

本町においては、お子さんなどの非喫煙者が他人のたばこの煙を吸うことにより、健康に被害を及ぼすことのない環境を作るため、平成26年に和寒町受動喫煙防止対策のための基本指針を策定し、行政

の役割である受動喫煙防止に係る重要性の周知と、公共施設における禁煙エリアの拡大に取り組んできた。

産業会館については、これまで多くの方々が利用する中で十分な分煙対策を施すことができなかったことから、新年度、新たに喫煙スペースを設けて分煙対策を講じることとした。

こうした取り組みによって、今後も、受動喫煙防止対策の必要性を周知していく。



▲喫煙スペースが新設される産業会館



石田利美議員

問 平成29年度の予算案は
答 関係省庁に対して積極的に要望していく

問 町立和寒病院を継続していく施策は
答 収支の改善につながる施策を検討していく

平成29年度の予算案は

平成28年度は、簡易水道事業、下水道施設、汚泥処理施設などで国の補助金が大きく減額された。

今年度は予定通りいくのか。

奥山町長

国庫補助は、道路橋梁事業と下水道事業は、昨年度と同様に厳しい状況であるが、公営住宅整備事業では、要望額に近い補助が見込まれる。今後も上川地方総合開発期成会などを通じて、北海道開発局や国土交通省、厚生労働省など関係省庁に対して積極的に要望していく。

○再質問

町営バスの業務委託は今後どうなるのか。

菊地建設課長

町営バスの業務委託はプロポーザル審査会を2月下旬に開催し、町外の新たな業者が業務委託を受注した。

○再質問

奥山町長がやるうとしていくことは逆作用で、雇用を減らして事業所を無くすということを推進しているのではないか。

奥山町長

和寒の交通安全体制を強化していく意味においても、実質的に責任は無かったものの、幼い命が失われたことは、私は大変重く受け止めており、安全の基準を高め、スクールバスも含めて運行体制を確立していかなければならないと思っている。

町立病院の施策は

平成29年度の町立病院事業会計で入院患者の減少、外来患者の減少などで収益が減少し、一般会計からの繰入金金が2億円を超えた。

このような状況が続けば、和寒町の一般会計を圧迫しかねない。早期に対策を講ずるべきと考えるが。

奥山町長

現在、総務省から策定が求められている新たな病院改革プランを策定する中で、病院長をはじめ医師や医療スタッフと充分協議しながら、病床の在り方を含め、収支の改善につながる方策を検討していく。

○再質問

奥山町長は医療関係のプロと思っているが。

奥山町長

道庁で課題のある事業で、町立病院を移管する仕事を何箇所も担当してきた。その部分についてはプロというより担当していたと理解していただきたい。

○再質問

執行者は無策だったと思わないか。

奥山町長

無策であると言っただけ、結果として受け止めなくてはいけない。

JR宗谷線の維持は

宗谷線の経営問題で、2月3日の沿線市町村と道議会との意見交換会で、町長の上下分離方式発言の真意は。

奥山町長

町としては、以前から宗谷本線活性化推進協議会を通じて関係市町村と連携し、道や国に対し宗谷本線の維持、存続に向けたJR北海道への支援に対する要望を行ってきた。鉄道沿線自治体は道や国の動向を探るといった動きの鈍い状況が続いていたため、地域から具体的な提案をする必要があるとの考えの下で発言をした。



▲ JR 宗谷本線と和寒駅

佐々木広行議員



問 平成29年度予算編制は 答 課題が数多くあるが取り組んでいく

問 次期町長選に挑む所信は 答 適切な時期に示していく

今までの取り組み結果と
反省・課題は

平成29年度予算編制は、奥山町政の最終年である。今までの取り組み結果と反省、更には今後の課題については。

奥山町長

政策に係る取り組みの成果については「安心して暮らすことのできるまちづくり」として、高齢者福祉施策では、住民参加型の意見交換会を実施し、地域ニーズや課題を把握したうえで、なごやかサロンの開設、高齢者の生活における移動手段を確保するため、おでかけハイヤー事業を実施してきた。

児童福祉施策では、保育料の負担軽減を7割に拡充し、出産に対する「にれっこ祝い金」を10万円にした。

住環境の整備として、マイホーム応援事業や民間における単身者向け省スペース型賃貸住宅の整備、老朽化に伴う浄水場の改築整備に取り組んできた。

「産業育成による活力あるまちづくり」として、農業経営力支援事業や特産品の振興と販路拡大、観光施策では、塩狩温泉跡地や夫婦岩周辺土地の購入と整備、着地型観光の推進や広域連携にも努めてきた。

「ひとが輝くまちづくり」として、教育施策では、学力の向上と教師力の強化を図るため、学ば力を育む推進事業、子育て支援としては、学校給食費3割の負担軽減にも取り組んできた。

課題としては、町民、議員からたくさんの方の意見をもらっているが、解決できていない課題が山積している。

特に町立病院の安定した運営や芳生苑などの高齢者施設・中間施設の整備、さらには人口減少を食い止めるための雇用創出など、課題が数多くあると認識している。

○再質問

町長が就任してから、延べ66人の議員が一般質問をしてきているが、基本的にはこの町に安心して住み続けていける町づくりを目指しての質問である。

町長の優先順位の考え方は。

奥山町長

基本的には行政が取り組む内容として、住民の生活に対する課題の解決だと理解している。

例えば、水・食糧・水害など生活を脅かすような事態が出たときには、当然優先順位が最大となる。

目の前の課題もあるが、5年10年をかけて解決しなければならぬ課題もあり、並行して取り組んでいく。

次期町長選に挑む所信は

平成30年1月は町長改選期であるが、次期町長選に挑む所信は。

奥山町長

本町においては、まちづくりに向けた重要な課題が山積していると認識している。

平成29年度の当初予算を確実に執行していくことで、町民の皆さんが、安心、安全に暮らせるまちづくりに努めながら、課題の解決に向けて全力で取り組む。

次期町長選については、支援していただいている方々と十分相談したうえで、適切な時期に示していく。



高齢者福祉政策を 転出者が増加

総務福祉

健全財政を 町債残高増加傾向

●芳生苑に関して

相次ぐ不祥事事件を厳粛に受け止め、利用者の目線に立ったケアを目指し、職員全体の意識レベルの向上にこれまで以上に努力していただきたい。

●福祉住宅に関して

高齢化率が今後も高く推移することに加え、特養入所前の高齢者が町外の施設に転出するケースが増えていることから早急な検討が必要と考え、視察と調査を重ねてきた。

視察先では、コンパクトシティ的なところも多く、行政としても高齢化住宅と施設を一体的に考える必要があり、サービス付き高齢者住宅を視野に入れ福祉政策を検討することが望ましい。

●財政状況

基金残高は平成19年度以降毎年度増加している一方、町債残高も22年度以降増加傾向にある。

今後も補助金の確保と有利な起債を活用して健全財政維持に努めていただきたい。

●ふるさと納税

町の戦略的収入減として位置付け、決済方法など5点について意見をまとめた提言書を平成27年8月に町に提出。

寄付額は29年1月現在で27年度の5倍近くまで増えている。

今後も、和寒町内外に関心を惹きつける取り組みを続けてもらいたい。

委員定数削減 青年・女性の登用を

産業教育

大通りに団地を 2棟目の用地が課題

これまで農業委員は、10名が選挙、5名が団体推薦により選ばれてきたが、農業委員会等に関する法律が改正されたことにより、今後は公選制を廃止し、市町村長が議会の同意を得て任命する方法に変わる。

農業委員会では、次期からは委員定数14名が望ましいという意見があり、改選期に再度定数を検討するということがあったが、現在13名であることから常任委員会においては反対意見も出された。削減に向けての取り組みを進めてもらいたい。

また、これまで議会から女性2名を推薦してきており、今後は推薦が不可能となるが、青年・女性の積極的な登用にも努めてもらいたい。

単身者向け住宅については、人口減少が進む中で、戸数を増やした場合の将来の課題や年齢制限撤廃後の流動化など、検討を重ねてきた結果、平成28年度から「省スペース型賃貸住宅建設事業」を12戸分6千万円の予算でスタートし、2事業者で2棟10戸の住宅が完成した。

若草団地の整備については、立替用地の確保のため空家を集約して取り壊さなければならないことから、現在住まわれている方の流動化を図る必要がある、そのためには、大通りに団地を整備する必要があると判断したが、現在1棟分しか目処が立っていないことから、早急に2棟目の用地確保を進めてもらいたい。

TOPIC
議会

1月20日開催
第1回町議会
臨時議会

補正予算

【一般会計補正予算】

(全員賛成可決)

ふるさとまちづくり応援寄付金の増額及び基金への積立による増額補正、寄付金の増額に伴う和寒ふるさとギフトの増額補正、後期高齢者療養給付費負担金の増額補正など、総額2,728万円の増額補正を可決しました。

文書質問 (1月20日)

質問者：石田 利美議員

件名：カボチャ作付面積日本一を守るために補助を

質問相手：奥山町長

(質問の要旨)

これまでカボチャのマルチにサンブラックマルチが使われていたが、平成28年度をもって中止となり、平成29年度からは60%高い生分解マルチを使わなければならない。

これまでも中山間事業で生分解マルチに補助はしていたが、平成29年度からはそれだけでは足りないことから、新たな補助を考えていただきたい。



文書質問回答 (1月27日)

マルチの切り替わりによって、生産費の上昇による農家所得の減少や更なる作付け面積の減少に繋がることを危惧しており、関係する農業生産団体からも同様の支援の要望がある。

中山間地域直接支払交付金事業では、マルチに対する補助の限度額が設けられており、本町における全農家戸数の約85パーセントがカボチャを作付していることも踏まえると、現状では今回の急激な変化に対応しきれないものと受け止めているため、町としては新たな助成制度を検討していきたい。

※和寒町議会会議条例の第69条において、「議員は、閉会中に緊急性があると認められる町の事務・事業について文書で質問することができる。」と定められています



表紙の写真

金曜日を楽しみに

今回は、サロン活動3年目となる、おやすみ処(旧仲野金物店)を紹介します。毎週金曜日に参加して、お弁当を持参し、100円でご納めでも利用できるサロンです。

4月からは、男性利用者の要望を受けて、毎月第3金曜日を『男性の日』として、多くの男性に利用していただけるよう呼びかけています。

町民インタビュー 聞かせて



“和寒の景色 を作品に”



▲「私の傑作」 わっさむ草花の会の皆さん

今年度は町内で活動されているグループを紹介いたします。

今回は「わっさむ草花の会」の皆さんにお話を聞かせていただきました。

これまでの歩みは？

平成5年に二〇初子先生の指導の下発足し、累計30名程の会員で活動してきたのですが、現在5名で、4月からは3名になってしまいます。

活動の内容は？

これまで、作品を展示させていただげる場所（芳生苑・図書館・北原交流展示館・郵便局）があるので、それが励みとなり、活動して来られました。

それと、75歳以上の独り暮らしの方々に、押し花ハガキを作って、暑中見舞いを出してきました。

作品のテーマは？

本をお手本にしたりもしますが、日頃目にするものを「これって作品に



なるかも…」という目線で見てしまいます。

和寒の景色を作品にしたいと思いつつ、これまで難しく表現できていないのですが、テーマにしたい思いはあります。

今後の活動は？

発足当初より指導してくださった先生が高齢のため辞められてしまうことになり、これからは個々で作品を作ろうと思っています。

これまで続けてきた押し花ハガキは文連を脱会したこともあり、資金も無く難しいですが、展示会は続けていくので楽しみにしててください。

広報委員の一言

昨年は、自然災害や平年より早い根雪で、天候に振り回された一年間であったが、年明け後は、雪も平年より少なく穏やかな天候が続く雪解けも順調に進んでいる。

積雪が少ない時は、夏は水不足になるなどの話もあるが近年の異常気象を見ると不安も感じる。

しかし、雪解けの土手を見渡すと、ふきのとうが顔を出し春の訪れと生命力の強さも感じる。

人間の体も、冬から春にかけて体自体が冬から目覚めようとし、自然に山菜を求めるようになる。

山菜の特有な苦味成分には、新陳代謝を活性化し消化を促進する働きがあり、うごやセリには血圧を下げる効果がある。

これから山菜の時期だが、山の恵に感謝し、山に入る際には十分な装備を忘れないようにしていただきたい。

（裕二）